

## 第7章 保健体育

### 第1 教科目標、評価の観点及びその趣旨等

#### 1 教科目標

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

#### 2 評価の観点及びその趣旨

運動や健康・安全への 関心・意欲・態度	運動や健康・安全 についての思考・判断	運動の技能	運動や健康・安全 についての知識・理解
運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に積極的に取り組もうとする。また、個人生活における健康・安全について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	生涯にわたって運動に親しむことを目指して、学習課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の組み合わせ方を工夫している。また、個人生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	運動の合理的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって運動に親しむための理論について理解している。また、個人生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

#### 3 内容のまとめり

保健体育科においては、体育分野及び保健分野ごとに、学習指導要領に示された以下を内容のまとめりとした。

体育分野は、「A 体づくり運動」、「B 器械運動」、「C 陸上競技」、「D 水泳」、「E 球技」、「F 武道」、「G ダンス」、「H 体育理論」を内容のまとめりとした。

保健分野は、「(1) 心身の機能の発達と心の健康」、「(2) 健康と環境」、「(3) 傷害の防止」、「(4) 健康な生活と疾病の予防」を内容のまとめりとした。

### 第2 内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

#### I 体育分野

##### 第1学年及び第2学年

#### 1 体育分野の目標

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- (2) 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。

#### 2 体育分野の評価の観点の趣旨

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
運動の楽しさや喜びを味	運動を豊かに実践する	運動の合理的な実践を	各運動の特性や成り立

わうことができるよう、公正、協力、責任などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとする。	ための課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。また、体力を高めるための運動の組み合わせ方を工夫している。	通して、勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツが心身の発達に与える効果についての考え方を理解している。
--	--	---	--

### 3 学習指導要領の内容、内容のまとめりとごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

#### (1)「A 体づくり運動」

##### 【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。
- ア 体ほぐしの運動では、心と体の関係に気付き、体の調子を整え、仲間と交流するための手軽な運動や律動的な運動を行うこと。
- イ 体力を高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行うとともに、それらを組み合わせる運動の計画に取り組むこと。
- (2) 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。
- (3) 体づくり運動の意義と行い方、運動の計画の立て方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

##### 【「A 体づくり運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を組み合わせるとともに、学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	/	体づくり運動の意義と行い方、運動の計画の立て方などを理解している。

##### 【「A 体づくり運動」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>仲間の学習を援助しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体ほぐしのねらいである「心と体の関係に気付く」、「体の調子を整える」、「仲間と交流する」ことを踏まえて、課題に応</li> </ul>	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>体づくり運動の意義について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>体づくり運動の行い方について、学習し</li> </ul>

<p>うとしている。 ・健康・安全に留意している。</p>	<p>じた活動を選んでい る。 ・関節や筋肉の働きに 合った合理的な運動 の行い方を選んでい る。 ・ねらいや体力に応じ て効率よく高める運 動例やバランスよく 高める運動例の組み 合わせ方を見付けて いる。 ・仲間と協力する場 面で、分担した役割 に応じた活動の仕方 を見付けている。 ・仲間と学習する場 面で、学習した安全 上の留意点を当ては めている。</p>		<p>た具体例を挙げてい る。 ・運動の計画の立て 方について、理解し たことを言ったり書 き出したりしている。</p>
-----------------------------------	---	--	--

※ なお、「体づくり運動」の体ほぐしの運動は、技能の習得・向上を直接のねらいとするものではないこと、体力を高める運動は、運動の計画を立てることが主な目的となることから、運動の技能は設定せず、(1) 運動については、主に「運動についての思考・判断」に整理している。

## (2) 「B 器械運動」

### 【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。
- ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと、それらを組み合わせること。
- イ 鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと、それらを組み合わせること。
- ウ 平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと、それらを組み合わせること。
- エ 跳び箱運動では、繰り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと。
- (2) 器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。
- (3) 器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

### 【「B 器械運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<p>器械運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、よい演技を認めようとする、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。</p>	<p>器械運動を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>器械運動の特性に応じた技を身に付けている。</p>	<p>器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している。</p>

【「B 器械運動」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・器械運動の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>・よい演技を認めようとしている。</li> <li>・分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>・仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>・健康・安全に留意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習する技の合理的な動き方のポイントを見付けている。</li> <li>・課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選んでいる。</li> <li>・学習した技から、「はじめ—なか—おわり」などの構成に適した技の組み合わせ方を見付けている。</li> <li>・仲間と学習する場面で、仲間のよい動きなどを指摘している。</li> <li>・仲間と学習する場面で、学習した安全上の留意点を当てはめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マット運動では、回転系や巧技系の技を組み合わせるための、滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。</li> <li>・鉄棒運動では、支持系や懸垂系の技を組み合わせるための、滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。</li> <li>・平均台運動では、体操系やバランス系の技を組み合わせるための、滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。</li> <li>・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器械運動の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・技の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・器械運動に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

(3) 「C 陸上競技」

【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。
  - ア 短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ること、長距離走では、ペースを守り一定の距離を走ること、ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すこと。
  - イ 走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶこと。
- (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。
- (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

【「C 陸上競技」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
陸上競技の楽しさや喜びを味わうことができるよ	陸上競技を豊かに実践するための学習課題に	陸上競技の特性に応じた、基本的な動きや効	陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行

う、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	応じた運動の取り組み方を工夫している。	率のよい動きを身に付けている。	い方、関連して高まる体力を理解している。
--	---------------------	-----------------	----------------------

【「C 陸上競技」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。</li> <li>分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術を身に付けるため運動の行い方のポイントを見付けている。</li> <li>課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</li> <li>学習した安全上の留意点を他の練習や競争場面に当てはめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることができる。</li> <li>長距離走では、ペースを守り一定の距離を走ることができる。</li> <li>ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。</li> <li>走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。</li> <li>走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。</li> <li>技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>陸上競技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

(4) 「D 水泳」

【学習指導要領の内容】

- 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身に付けることができるようにする。
  - クロールでは、手と足、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。
  - 平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。
  - 背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。
  - バタフライでは、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。
- 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができるようにする。
- 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

【「D 水泳」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
水泳の楽しさや喜びを味わうことができるよう、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	水泳を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	水泳の特性に応じた泳法を身に付けている。	水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している。

【「D 水泳」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。</li> <li>・分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>・仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>・水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に留意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泳法を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。</li> <li>・課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。</li> <li>・学習した安全上の留意点を他の練習場面に当てはめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロールでは、手と足、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。</li> <li>・平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。</li> <li>・背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。</li> <li>・バタフライでは、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

※ 内容の取扱いに「泳法との関連において水中からのスタート及びターンを取り上げる」としているため、技能の一部としてこれらを指導する場合は、生徒の技能・体力の程度、施設の状況等を考慮した上で、学習指導要領解説を参考に各学校において評価規準を設定する。

(5) 「E 球技」

【学習指導要領の内容】

- 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。
  - ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開すること。
  - ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開すること。
  - ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開すること。
- 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配る

ことができるようにする。

- (3) 球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，関連して高まる体力などを理解し，課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

【「E 球技」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう，フェアなプレイを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや，健康・安全に留意して，学習に積極的に取り組もうとしている。	球技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	球技の特性に応じて，ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。	球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，関連して高まる体力，試合の行い方を理解している。

【「E 球技」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>フェアなプレイを守ろうとしている。</li> <li>分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</li> <li>仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。</li> <li>自己やチームの課題を見付けている。</li> <li>提供された練習方法から，自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいく。</li> <li>仲間と協力する場面で，分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。</li> <li>学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール型では，ゴール前での攻防を展開するためのボール操作と空間に走り込むなどの動きができる。</li> <li>ネット型では，空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きができる。</li> <li>ベースボール型では，攻防を展開するための基本的なバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と定位置での守備などの動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の特性や成り立ちについて，学習した具体例を挙げている。</li> <li>技術の名称や行い方について，学習した具体例を挙げている。</li> <li>球技に関連して高まる体力について，学習した具体例を挙げている。</li> <li>試合の行い方について，学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

(6) 「F 武道」

【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動について，技ができる楽しさや喜びを味わい，基本動作や基本となる技ができるようにする。
- ア 柔道では，相手の動きに応じた基本動作から，基本となる技を用いて，投げたり抑えたりするなどの攻防を展開すること。

イ 剣道では、相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻防を展開すること。

ウ 相撲では、相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、押ししたり寄りたりするなどの攻防を展開すること。

(2) 武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。

(3) 武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

【「F 武道」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
武道の楽しさや喜びを味わうことができるよう、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	武道を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	武道の特性に応じて、攻防を展開するための基本動作や基本となる技を身に付けている。	武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。

【「F 武道」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 武道の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>・ 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。</li> <li>・ 分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>・ 仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>・ 禁じ技を用いないなど健康・安全に留意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。</li> <li>・ 課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>・ 仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。</li> <li>・ 学習した安全上の留意点を他の練習場面に当てはめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柔道では、投げたり抑えたりするなどの攻防を展開するための相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技ができる。</li> <li>・ 剣道では、打ったり受けたりするなどの攻防を展開するための相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技ができる。</li> <li>・ 相撲では、押ししたり寄りたりするなどの攻防を展開するための相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 武道の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・ 武道の伝統的な考え方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>・ 技の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・ 武道に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・ 試合の行い方について学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

## (7)「G ダンス」

### 【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。
  - ア 創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ること。
  - イ フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ること。
  - ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ること。
- (2) ダンスに積極的に取り組むとともに、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。
- (3) ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

### 【「G ダンス」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
ダンスの楽しさや喜びを味わうことができるよう、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	ダンスを豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	ダンスの特性に応じて、交流ができるよう、イメージをとらえた表現や踊りをするための動きを身に付けている。	ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解している。

### 【「G ダンス」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>・よさを認め合おうとしている。</li> <li>・分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>・仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>・健康・安全に留意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。</li> <li>・課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>・発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。</li> <li>・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊るための動きができる。</li> <li>・フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊るための動きができる。</li> <li>・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・踊りの由来について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・ダンスに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

		って全身で踊るための動きができる。
--	--	-------------------

(8)「H 体育理論」

【学習指導要領の内容】

- (1) 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。  
 ア 運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりするなどの必要性や、競技に応じた力を試すなどの楽しさから生みだされ発展してきたこと。  
 イ 運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えることなどの多様なかわり方があること。  
 ウ 運動やスポーツには、特有の技術や戦術があり、その学び方には一定の方法があること。
- (2) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。  
 ア 運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果が期待できること。  
 イ 運動やスポーツは、ルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できること。  
 ウ 運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があること。

【「H 体育理論」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
運動やスポーツが多様であること、運動やスポーツの意義や効果などについて関心をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。	運動やスポーツが多様であること、運動やスポーツの意義や効果などについて、学習した知識を活用したり応用したりしている。	/	運動やスポーツが多様であること、運動やスポーツの意義や効果などについて理解している。

【「H 体育理論」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
・運動やスポーツが多様であることについて、(情報を集めたり、意見を交換したりするなどの)活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。	・運動やスポーツが多様であることについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。	/	・運動やスポーツの必要性和楽しさについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動やスポーツへの多様なかわり方について、言ったり書き出したりしている。 ・運動やスポーツの学び方について、言ったり書き出したりしている。
・運動やスポーツの意義や効果などについて、(情報を集めたり、意	・運動やスポーツの意義や効果などについて、出された意見や	/	・運動やスポーツが心身に及ぼす効果について、言ったり書き

見を交換したりするなどの) 活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。	集めた情報を分析したり、整理したりしている。	/	出したりしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・安全な運動やスポーツの行い方について、言ったり書き出したりしている。</li> </ul>
---	------------------------	---	---

### 第3学年

#### 1 体育分野の目標

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、知識や技能を高め、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにする。
- (2) 運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、心身の調和的発達を図る。
- (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。

#### 2 体育分野の評価の観点の趣旨

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとする。	生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。また、自己の状況に応じて体力を高めるための運動の計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義の考え方を理解している。

#### 3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

##### (1) 「A 体づくり運動」

###### 【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。
  - ア 体ほぐしの運動では、心と体は互いに影響し変化することに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行うこと。
  - イ 体力を高める運動では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むこと。
- (2) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、体力の違いに配慮しようとする事、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。
- (3) 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

【「A 体づくり運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとする事、自己の責任を果たそうとする事などや、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。	ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	/	運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。

【「A 体づくり運動」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>・体力の違いに配慮しようとしている。</li> <li>・自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしのねらいを踏まえて、自己の課題に応じた活動を選んでいる。</li> <li>・ねらいや体力の程度に応じて強度、時間、回数、頻度を設定している。</li> <li>・自己の責任を果たす場面で、ねらいに応じた活動の仕方を見付けている。</li> <li>・仲間と学習する場面で、体力の違いに配慮した補助の仕方などを見付けている。</li> <li>・実生活で継続しやすい運動例を選んでいる。</li> </ul>	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動を継続する意義について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>・運動を安全に行う上で必要となる体の構造について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>・運動の原則があることについて、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> </ul>

※ なお、「体づくり運動」の体ほぐしの運動は、技能の習得・向上を直接のねらいとするものではないこと、体力を高める運動は、運動の計画を立てることが主な目的となることから、運動の技能は設定せず、(1) 運動については、「運動についての思考・判断」に整理している。

(2) 「B 器械運動」

【学習指導要領の内容】

(1) 次の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技で演技することができるようにする。

ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと、それらを構成し演技すること。

イ 鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと、それらを構成し演技すること。

ウ 平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと、それらを構成し演技すること。

- エ 跳び箱運動では、繰り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと。
- (2) 器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。
- (3) 技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

【「B 器械運動」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
器械運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、よい演技を讃えようとする、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。	生涯にわたって器械運動を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	器械運動の特性に応じて演技するための、自己に適した技を身に付けている。	技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、発表会や競技会の仕方を理解している。

【「B 器械運動」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>器械運動の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>よい演技を讃えようとしている。</li> <li>自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の課題に応じて、学習する技の合理的な動き方の改善すべきポイントを見付けている。</li> <li>自己の課題に応じて、適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>自己の技能・体力の程度に応じて、目指す技や技の組み合わせ方を見付けている。</li> <li>仲間と学習する場面で、仲間の動きと自己の動きの違いなどを指摘している。</li> <li>健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>器械運動を継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マット運動では、回転系や巧技系の技で構成し演技するための、滑らかに安定した基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。</li> <li>鉄棒運動では、支持系や懸垂系の技で構成し演技するための、滑らかに安定した基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。</li> <li>平均台運動では、体操系やバランス系の技で構成し演技するための、滑らかに安定した基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。</li> <li>跳び箱運動では、繰り返し系や回転系の滑らかに安定した基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>器械運動に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>発表会や競技会の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

### (3) 「C 陸上競技」

#### 【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。
  - ア 短距離走・リレーでは、中間走へのつながりを滑らかにするなどして速く走ること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すこと。
  - イ 走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶこと。
- (2) 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。
- (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

#### 【「C 陸上競技」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
陸上競技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。	生涯にわたって陸上競技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	陸上競技の特性に応じた、各種目特有の技能を身に付けている。	技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。

#### 【「C 陸上競技」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。</li> <li>・自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の課題に応じた運動の行い方の改善すべきポイントを見付けている。</li> <li>・自己の課題に応じて、適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>・仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択に関して指摘している。</li> <li>・健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>・陸上競技を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短距離走・リレーでは、中間走へのつながりを滑らかにするなどして速く走ることができる。</li> <li>・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</li> <li>・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。</li> <li>・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。</li> <li>・走り高跳びでは、リ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・陸上競技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> </ul>

	見付けている。	ズミカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができる。	
--	---------	------------------------------------	--

#### (4)「D 水泳」

##### 【学習指導要領の内容】

- (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、効率的に泳ぐことができるようにする。
- ア クロールでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。
- イ 平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。
- ウ 背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。
- エ バタフライでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。
- オ 複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすること。
- (2) 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事などや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保することができるようにする。
- (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

##### 【「D 水泳」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
水泳の楽しさや喜びを味わうことができるよう、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事などや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。	生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。	技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。

##### 【「D 水泳」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。</li> <li>自己の責任を果たそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択した泳法について、自己の改善すべきポイントを見付けている。</li> <li>自己の課題に応じて、適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法について、アドバイスを求めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロールでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</li> <li>平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>水泳に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>運動観察の方法について、理解したこと</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習方法の選択について指摘している。</li> <li>健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>水泳を継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>で長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</li> <li>背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。</li> <li>バタフライでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。</li> <li>複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>を言ったり書き出したりしている。</li> </ul>
--	--	--	--

※ 内容の取扱いに「泳法との関連において水中からのスタート及びターンを取り上げること」としているため、技能の一部としてこれらを指導する場合は、生徒の技能・体力の程度、施設の状況等を考慮した上で、学習指導要領解説を参考に各学校において評価規準を設定する。

### (5) 「E 球技」

#### 【学習指導要領の内容】

- 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームが展開できるようにする。
  - ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開すること。
  - ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開すること。
  - ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開すること。
- 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。
- 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

#### 【「E 球技」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。	生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	球技の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。	技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、試合の行い方を理解している。

【「E 球技」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>作戦などについての話合いに貢献しようとしている。</li> <li>互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。</li> <li>仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</li> <li>作戦などの話合いの場面で、合意を形成するための適切なかかわり方を見付けている。</li> <li>健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>球技を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール型では、ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。</li> <li>ネット型では、空いた場所をめぐる攻防を展開するための役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。</li> <li>ベースボール型では、攻防を展開するための安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などの動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

(6) 「F 武道」

【学習指導要領の内容】

- 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を身に付けることができるようにする。
  - 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技、得意技や連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防を展開すること。
  - 剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技や得意技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防を展開すること。
  - 相撲では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技や得意技を用いて、相手を崩し、投げたりひねったりするなどの攻防を展開すること。
- 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。
- 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

【「F 武道」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<p>武道の楽しさや喜びを味わうことができるよう、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること</p>	<p>生涯にわたって武道を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>武道の特性に応じて、攻防を展開するための得意技を身に付けている。</p>	<p>伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、運動観察の方法、試合の行い方を理解している。</p>

<p>などや、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。</p>		
--	--	--

【「F 武道」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 武道の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>・ 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。</li> <li>・ 自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・ 互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>・ 健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の技能・体力の程度に応じた得意技を見付けている。</li> <li>・ 提供された攻防の仕方から、自己に適した攻防の仕方を選んでいる。</li> <li>・ 仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</li> <li>・ 健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>・ 武道を継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柔道では、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防を展開するための相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技、得意技、連絡技のいずれかができる。</li> <li>・ 剣道では、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防を展開するための相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技、得意技のいずれかができる。</li> <li>・ 相撲では、相手を崩し、投げたりひねったりするなどの攻防を展開するための相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技、得意技のいずれかができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 武道の伝統的な考え方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>・ 技の名称や見取り稽古の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・ 武道に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・ 運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>・ 試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

(7) 「G ダンス」

【学習指導要領の内容】

- 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表ができるようにする。
  - 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。
  - フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ること。
  - 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴をとらえ、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。
- ダンスに自主的に取り組むとともに、互いの違いやよさを認め合おうとすること、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。
- ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、体力の高め方、交流や発表の仕方などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

【「G ダンス」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
ダンスの楽しさや喜びを味わうことができるよう、互いの違いやよさを認め合おうとすること、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。	生涯にわたってダンスを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	ダンスの特性に応じて、交流や発表ができるよう、イメージを深めた表現や踊りをするための動きを身に付けている。	ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、体力の高め方、交流や発表の仕方などを理解している。

【「G ダンス」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>・互いの違いやよさを認め合おうとしている。</li> <li>・自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表したいテーマにふさわしいイメージを見付けている。</li> <li>・それぞれのダンスの特徴に合った踊りの構成を見付けている。</li> <li>・発表や仲間との交流の場面では、互いの違いやよさを指摘している。</li> <li>・健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>・ダンスを継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊るための動きができる。</li> <li>・フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊るための動きができる。</li> <li>・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴をとらえ、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊るための動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの名称や用語について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・踊りの特徴と表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・ダンスに関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・交流や発表の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> </ul>

(8) 「H 体育理論」

【学習指導要領の内容】

(1) 文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。

ア スポーツは文化的な生活を営み、よりよく生きていくために重要であること。

イ オリンピックや国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること。

ウ スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていること。

【「H 体育理論」の評価規準に盛り込むべき事項】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
文化としてのスポーツの意義について、課題を解決するための活動などを通して、学習に自主的に取り組もうとしている。	文化としてのスポーツの意義について、学習した知識を活用したり応用したりしている。	/	文化としてのスポーツの意義について理解している。

【「H 体育理論」の評価規準の設定例】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
・文化としてのスポーツの意義について、(意見を交換したり、自分の考えを発表したりするなどの)活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。	・文化としてのスポーツの意義について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明している。	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会におけるスポーツの文化的意義について、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割について、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・人々を結び付けるスポーツの文化的な働きについて、言ったり書き出したりしている。</li> </ul>

## II 保健分野

### 1 保健分野の目標

- (1) 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

### 2 保健分野の評価の観点の趣旨

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
心身の機能の発達と心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	心身の機能の発達や心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、課題の解決を目指して科学的に考え、判断し、それらを表している。	心身の機能の発達や心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

### 3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

#### (1) 「心身の機能の発達と心の健康」(第1学年)

##### 【学習指導要領の内容】

- (1) 心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。
- ア 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があること。
- イ 思春期には、内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。
- ウ 知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされること。
- エ 精神と身体は、相互に影響を与え、かかわっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。

##### 【「心身の機能の発達と心の健康」の評価規準に盛り込むべき事項】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表している。	身体機能の発達、生殖にかかわる機能の成熟、精神機能の発達と自己形成、欲求やストレスへの対処と心の健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

##### 【「心身の機能の発達と心の健康」の評価規準の設定例】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
・心身の機能の発達と心の健康について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を	・心身の機能の発達と心の健康について、健康に関する資料等で調べたことを基に、課題	・身体機能の発達について理解したことを言ったり、書き出したりしている。

<p>振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<p>や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心身の機能の発達と心の健康について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見付けたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生殖にかかわる機能の成熟について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>精神機能の発達と自己形成について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>欲求やストレスの対処と心の健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> </ul>
---	---	--

## (2)「健康と環境」(第2学年)

### 【学習指導要領の内容】

(2) 健康と環境について理解できるようにする。

ア 身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があること。

イ 飲料水や空気は、健康と密接なかわりがあること。また、飲料水や空気を衛生的に保つには、基準に適合するよう管理する必要があること。

ウ 人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。

### 【「健康と環境」の評価規準に盛り込むべき事項】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
健康と環境について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	健康と環境について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表している。	身体の問題に対する適応能力や至適範囲、飲料水や空気の衛生的管理、生活に伴う廃棄物の衛生的管理について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

### 【「健康と環境」の評価規準の設定例】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康と環境について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</li> <li>健康と環境について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康と環境について、健康に関する資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。</li> <li>健康と環境について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見付けたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体の問題に対する適応能力や至適範囲について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>飲料水や空気の衛生的管理について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>生活に伴う廃棄物の衛生的管理について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> </ul>

### (3) 「傷害の防止」(第2学年)

#### 【学習指導要領の内容】

(3) 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。

ア 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などがかわって発生すること。

イ 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。

ウ 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。

エ 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、応急手当には、心肺蘇生等があること。

#### 【「傷害の防止」の評価規準に盛り込むべき事項】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
傷害の防止について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	傷害の防止について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表している。	交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因やそれらによる傷害の防止、応急手当について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解している。

#### 【「傷害の防止」の評価規準の設定例】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</li> <li>・傷害の防止について、課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷害の防止について、健康に関する資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。</li> <li>・傷害の防止について、学習したこと自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見付けたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>・交通事故などによる傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>・自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>・応急手当について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> </ul>

### (4) 「健康な生活と疾病の予防」(第3学年)

#### 【学習指導要領の内容】

(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。

ア 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因がかかわり合って発生すること。

イ 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。また、食事の量や質の偏り、運動不足、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れは、生活習慣病などの要因となること。

ウ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれ

の要因に適切に対処する必要があること。

エ 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。

オ 健康の保持増進や疾病の予防には、保健・医療機関を有効に利用することがあること。また、医薬品は、正しく使用すること。

カ 個人の健康は、健康を保持増進するための社会の取組と密接なかかわりがあること。

【「健康な生活と疾病の予防」の評価規準に盛り込むべき事項】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
健康な生活と疾病の予防について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	健康な生活と疾病の予防について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表している。	健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活行動・生活習慣と健康、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、感染症の予防、保健・医療機関や医薬品の有効利用、個人の健康を守る社会の取組について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解している。

【「健康な生活と疾病の予防」の評価規準の設定例】

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活と疾病の予防について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</li> <li>・健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活と疾病の予防について、健康に関する資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。</li> <li>・健康な生活と疾病の予防について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見付けたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の成り立ちと疾病の発生要因について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>・生活行動・生活習慣と健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>・感染症の予防について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>・保健・医療機関や医薬品の有効利用について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>・個人の健康を守る社会の取組について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</li> </ul>